

阪南中学校だより

NO.16

令和7年12月22日（月）

発行：大阪市立阪南中学校長 中西 洋

今年も派手なイルミネーションはありませんが

～北畠の街に向けて～



阪南中ではこの季節になって、午後5時を過ぎれば正門前の街頭が灯り、美しくグリーンロードを照らしています。そのグリーンロードには、1年生が制作した“創作かるた”が先日飾り付けられました。今年のかるたのテーマは「絆」・「夢」・「平和」・「環境」・「大阪」・「部活動」・「趣味」です。今年も阪南中学校の正門前、明かりに浮かび上がるグリーンロードは、派手なイルミネーションはありませんが、北畠の街に向けて、阪南中学校の生徒たちの2025年の思いを掲げながら、冬の夜空のもと、とっても素敵な通りになっているのではないのでしょうか。（阪南中学校の正門の中央に灯るクラシカルなデザインの街灯は、約30年前に地域の方々のご意見をいただき、街灯を含めた玄関のデザインが決められたそうです。）。

さて、2025年（令和7年）が終わります。昭和100年、戦後80年といわれた節目の年が暮れようとしています。「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマに開催された大阪・関西万博2025も、未来や世界に向けた様々な発信がなされ大成功のうちに終わりました。大阪の街にとっても記念すべき1年となったのではないのでしょうか。

生徒の皆さんにとっては、2025年（令和7年）はどんな1年だったのでしょうか。阪南中学校で過ごしたこの1年が充実し、これからにつながる1年にできたのでしょうか。この2学期も、生徒の皆さんは、体育大会、合唱コンクールに文化発表会、もちろん日頃の学習活動や部活動、学年・学級の取り組みについて、しっかり成果を出してくれました。そして、互いを支え合いよくがんばってくれました。来るべき新しい年2026年（令和8年）も、先生方と一緒に、一つひとつ課題をクリアしていきましょう。より良い阪南中学校を創っていきましょう。

最後になりましたが、PTA役員・実行委員の皆様、学校支援各種ボランティアの皆様、給食調理員の皆様をはじめたくさんの方々に、この2学期の間も阪南中学校を支えていただきました。そして、その活動について、保護者・地域の皆様、近隣の皆様にご理解・ご支援いただきましたことを、重ねて感謝申し上げます。ありがとうございました。



→裏面に続く